行政視察報告書

令和２年２月25日

長浜市議会議長　押谷與茂嗣　様

長浜市議会議員　　山﨑正直 [redacted]

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

１．視察等名　会派新しい風視察研修
２．視察期間　令和２年２月12日（水）～13日（木）
３．視察場所及び目的
　①佐賀県鳥栖市
　　企業誘致について
　②佐賀県多久市
　　「児童生徒の学び方と教職員の働き方改革プロジェクト」について

４．調査内容感想等
◇佐賀県鳥栖市「企業誘致」について
鳥栖市は特長として、①抜群の交通アクセス②自然災害が少ない③労働人口が豊富④豊富な水資源があげられ、昭和29年の市制施行と同時に工場誘致条例を制定し、現在まで202社の誘致実績をあげておられる。市内には６つの大きな工業団地（うち４カ所は佐賀県主導）を有し、現在も１カ所整備中である。最近はIT産業の誘致も行えるよう、駅前のビルを事務所に使えるようにするなどの展開を考えている。
◇考察
当市も鳥栖市と同じく交通の要衝であり、今後も企業誘致に積極的に取り組まねばならない。そのためには農地転用など様々な問題をクリアしていく必要があ

長浜市議会

る。今般、小谷城SIC周辺への企業誘致が成功したが、まだまだこれから多くの誘致施策を取っていくことが肝要になると思われる。

◇佐賀県多久市　「児童生徒の学び方と教職員の働き方改革プロジェクト」について

多久市では平成２１年に市内全学校全教室に電子黒板を配置し、２９年からは市内３校を義務教育学校として開校している。また、ソフトバンクコマース&サービスやマイクロソフト社と連携してフルパブリッククラウド化を行い、ICT 環境整備や、協働学習などにおいて学び方改革を実施している。またフルクラウドなので、教職員がPCを持ち帰ることが可能となり、多くの教職員がテレワークを行ったり、ペーパーレス会議などの働き方改革も進んでいる。

◇考察

当市でも教職員の働き方改革については随分改善されてきたように思われる。テレワークについては、長期休業期間には有効な手立てであると思われるが、仕事を家に持って帰り、かえって時間外での作業が増えることが懸念される。全教室への電子黒板整備も進んではいるが、それを使いこなした授業展開が行われ、学力UPにつながっていくことが大切である。